

平成 28 年度 愛育班員・育成者東北ブロック研修会
(秋田県、山形県、福島県)

平成 28 年 8 月 22 日 (月) 秋田県潟上市で開催されました。参加者 63 人

恩賜財団母子愛育会では、25 年度から「愛育班員・育成者ブロック研修会」を開催していますが、28 年度は全国 6 ブロック中、3 ブロックで研修会を行っております。

今年度初めとなる研修会を 8 月 22 日に秋田県潟上市で「東北ブロック研修会」を開催しました。

当日は、秋田県健康福祉部健康推進課柳田高人課長さんのごあいさつをいただき、その後山形県米沢市、福島県郡山市・南相馬市、秋田県大仙市の活動紹介をしていただきました。午後は「愛育班活動を発展させるためには」と題して、グループワークを行いました。グループワークでは「愛育班活動シート」を活用し、愛育班活動の進め方について演習をとおして学習しました。

山形県米沢市三沢愛育班活動報告



乳幼児計測のお手伝い

学童保育との交流



山形県において愛育班活動を行っているのは、米沢市三沢愛育班 1 ヶ所です。三沢母子愛育班は昭和 28 年に結成され、妊婦・乳幼児訪問から始めました。

現在では、新生児訪問で手作りスタイのプレゼント、学童保育との交流、赤ちゃんお母さんとの交流、米沢市の乳幼児計測のお手伝いと幅広く活動を行っています。

当日、手づくりスタイを披露していただきましたがプロの腕前でした。

また、地域との交流も山野草展、田んぼアート、地区運動会・文化祭などにも参加し地域の人々との交流を深めています。また、「愛育だより」の発行も行っています。

福島県郡山市三穂田地区愛育班活動報告



乳幼児健診時の育児コーナ



高齢者のストレッチ体操

郡山市三穂田地区は、昭和 52 年に母子愛育班が結成されました。愛育班員の任期は 2 年で、専業農家等の主婦の方々が忙しいお仕事の中活動されています。

また、愛育班活動は初めての方が多く、はじめは戸惑いを隠せませんが、料理教室や視察研修などを重ねていくうちに「愛育班活動は自分がおこなうもの」との自覚を持つ方も増えてきています。

東日本大震災で不安を抱いている親子に対してはじめての 3 歳児健診時の「遊びの広場」では、30 人ぐらいの子どもが参加し、ぬりえや、おり紙を折って遊んでいます。敬老会では、簡単なストレッチ体操を指導しています。

今後は、学童保育等が始まるので、その機会をとらえ、子ども達に食の大切さを伝えたいと思っています。

福島県南相馬市母子愛育会活動報告



ぼにたん広場

いやしのお茶会



発足当初は17人だった班員も現在では35人に増え「できる事をする」「無理なくする」「楽しくする」をモットーに活動を行っています

平成25年5月に設立した「南相馬市母子愛育会」は子どもから高齢者までみんなニコニコ楽しく元気になるような健康づくり活動「ニコニコ笑顔でよりそい隊」として声かけ、見守り、話し合い活動を目標に活動を行っています。具体的には「ぼにたん広場」「いやしのお茶会」などを開催し、班員さんの得意なことを活かして楽しく活動しています。また、今年度から「ニコニコ笑顔でよりそい隊」の旗を公園に立て、公園で遊んでいる子どもたちの見守りを行っています。

大仙市神岡愛育会は昭和48年に愛育班活動が始まりました。現在は、愛育班活動のほかに、健康推進員、結核予防婦人会の活動も兼ねて行われています。愛育班活動としては声かけ見守り活動が中心で、27年度は、4,879世帯、乳幼児の声かけ431人と地域の人々に声かけ活動を行っています。また、声かけカードを作成し、保健師へ届けており、急いで伝えたい情報は直接保健師に電話で伝えるなど、愛育班活動の基本的活動を大切にしています。声かけカードから「高齢者は話し相手が欲しいことに気づいた」「雪よせが近所のコミュニケーションになっている」などの声が寄せられています。

秋田県大仙市神岡愛育会活動報告



平成27年度 神岡愛育会声かけ活動実績 ☆4,879世帯 ☆乳幼児 431人

グループワーク「愛育班活動を発展させるためには」

各県の愛育班員、保健師が地域ごとにグループになり、愛育班活動シートを活用したグループワークをおこないました。まず、グループごとに、高齢者か子どものどちらかを選択し、それぞれ気になる事を全員がポストイットに書き込みます。それを一人ひとりが発表しながら模造紙に貼っていきます。出された同じ内容を囲みタイトルをつけます。高齢者をテーマにしたグループは「高齢者の孤独死が心配」子どもでは「外で遊ぶ子どもが少ない」などの課題がだされました。いくつかの課題の中から一つ選択し、解決のための活動目標を考えます。「高齢者の孤独死」が心配とだされたグループは「カーテンが空いているか確認する活動」などが提案されました。この活動シートを作成することで、漠然と行っていた活動が明確な活動になり、広く住民や行政に愛育班活動が伝えられます。このシートを毎年活用することで、活動が積み重なり、愛育班活動が活性化すると考えます。